

夕方から働きたい人の応援フリーペーパー
Weekly Free Paper

noche city

ノッチェシティ

TAKE
FREE

無料の
アルバイト
情報誌

履歴書
付き

札幌の知的で素敵で役に立つ

FREE STYLE FREE PAPER

今週の
特集は

あなたにとってのステイタスとは
STATUS.STATUS.STATUS.

毎週
金曜日発行

2004.10.15

vol.073

日新堂印刷株式会社 代表取締役

Shinya Abe

阿部 晋也 33歳

財産やモノによる満足感を超えたところに
本当の意味での『ステイタス』がある



『ステイタス』とは豊かな心と人に何かを与えられること

今、たいへん話題を呼んでいる名刺がある。それは『再生ペット名刺』。ペットボトルを原料として作られた名刺である。資源を有効に使った環境保全にたいへん役立っていると評判だが、それだけではない。一枚配ることに1円が募金されるシステムまで付いているのだ。この画期的な名刺を開発したのは、日新堂印刷(株)代表取締役・阿部晋也さん。発案のきっかけは、この名刺を利用したことによる企業のイメージアップと利益向上、そして何よりも社会貢献をしたいと考える各企業の要求を叶えることが大きな理由であった。

社会貢献。つまり、社会のためになり、人のためになること。自社の利益向上だけではなく、何かの誰かの役に立ちたいと考える企業は年々増えてきている。そして、阿部社長自身もそう考える経営者の一人であった。その基本理念は、阿部社長が考える『ステイタス』にあった。「私が考える『ステイタス』とは、豊かな心と人脈、そして人に何かを与えられることです」と阿部社長。つまり、人の要求を読みとれる豊かな心、その要求を叶えるための人脈と力こそが真の『ステイタス』であると考えているのだ。



自分の利益を求めずして貢献できる存在に

しかし若かりし頃の阿部社長は、『ステイタス』を「物質的なモノを持つこと」と捉えていたそうだ。学生時代はアルバイトで貯めたお金で海外を回り、社会人になりたての頃は趣味の釣りが高じて船を購入したり、自己満足のための生活を送っていたという。しかしある程度モノを手にする事ができてしまうと物質に対する魅力は次第に少なくなっていたそうだ。33歳になった今、阿部社長はこう語る。「人はある程度、財産やモノを手に入れたら次の欲求段階へと進みます。後は社会貢献しかないと感じました。財産やモノによる豊かさや満足感を超えたところに、本当の意味での『ステイタス』があると思います。いずれは自分の利益を求めずして、人の役に立つことができる存在になりたいです」。

今を大切にし、好きなことを好きなだけやってほしい

最後に、若者たちが抱いている『ステイタス』について「意見をうかがった。」業しさの追求であるが、豪華一点主義であるうが、まずは達成する喜びを知ってもらいたいです。目標は大きければ大きいほどいい。非常識なほど大きな夢を持っているのは若者の特権です。それを手にするためにたくさん苦労があったとしても、乗り越えたときには必ずかけがえのないものが残ります。

『ステイタス』の持つ意味が、「物質的なモノを持つこと」から「社会貢献」という形に変化した阿部社長だからこそ、若者たちが抱いている『ステイタス』を理解できるのだろう。そして、その経緯があったからこそ、現在の『ステイタス』に到達したのだと思う。とにかく今できること、今興味のあることを一杯やってほしい……。そんなメッセージが込められているように感じた。





Profile

日新堂印刷(株)

代表取締役 阿部 晋也

1971年札幌生まれ。札幌大学卒業後、就職するが社風に納得できず1年後自己退社。単身で長野の友人が経営している家具会社に向かい、北海道支社を立ち上げようとするが、両親に反対されあえなく帰郷。その後、父親が経営していた印刷会社(日新堂印刷)に就職し、3年後に社長に就任。「再生ペット名刺」が話題となる。現在も日々進歩する情報産業のために日夜勉強中。50歳から第二の人生をスタートするべく奮闘中である。



カレンダー

50歳までの日付が入ったカレンダー。目標達成までに残された日にちがわかる。50歳から第二の人生を歩むための夢が詰まっている。



月の土地

月の土地を1エーカー購入。「いつか行ける日が来るのを楽しみにしている」と阿部社長。